

PICK UP
01

ブルーゲル展 画家一族150年の系譜

問合せ
 美術館
 ☎34・6610



ホームページ

日本初公開となる作品群で 一族の系譜をたどる

16、17世紀のヨーロッパにおいて最も影響力を持った画家一族のひとつだったブルーゲル一族。その祖であるピーテル・ブルーゲル1世は、雄大な風景や農村の四季の営み、また民衆の生活やことわざの世界など身近な題材を分かりやすく描き人気を得ました。ピーテル・ブルーゲル1世の優れた点は、自然や人間の日常生活をありのままに描き、その本質を生き生きと表現したことにあると言われています。その姿勢は、彼の

二人の息子、さらにその子孫たちへと受け継がれ、一族の伝統を築き上げました。

本展は、ブルーゲル一族4世代150年の系譜をたどりながら、風景画、風俗画、花の静物画など、一族や同時代の画家たちが描き出した作品を紹介し、16、17世紀フランドル絵画（現在のベルギー周辺で描かれた絵画）の魅力に光をあてます。

展示作品は通常見ることができない個人所蔵の絵画など約100点により構成され、そのほとんどが日本初公開となります。

ブルーゲル展の案内

●会期

4月24日(火)～7月16日(月)

●開館時間

午前10時～午後5時30分
 (入場は午後5時まで)

●休館日

月曜日(4月30日、7月16日は開館)

●観覧料

一般1,500円(1,300円)／高校・大学生1,100円(900円)／中学生以下無料 ※()内は前売り、20人以上の団体料金。障がい者手帳を持つ人(付き添い1人)、市内在住・在学の高校生、市内75歳以上は無料(要証明)



左/ヤン・ブルーゲル1世、ヤン・ブルーゲル2世
 《机上の花瓶に入ったチューリップと薔薇》

下/ピーテル・ブルーゲル2世
 《野外での婚礼の踊り》



関連イベント

●記念講演会

いずれもところは美術館講堂。定員は先着160人(午後1時30分開場)

「農民のブルーゲルから花のブルーゲルへ
 ー華麗なる画家一族」

講師/千足伸行(美術評論家、成城大学名誉教授)

とき/5月13日(日)午後2時～3時30分

「フランドル・バロックの魅力：ブルーゲルの子どもたちを中心に」

講師/千速敏男(成安造形大学 芸術学部教授)

とき/7月1日(日)午後2時～3時30分

●お庭でマルシェ

とき/4月28日(土)～30日(月)、5月3日(木)、4日(金)午前10時～午後5時

ところ/美術館庭園

※関連イベントの詳細は、美術館ホームページをご覧ください

PICK UP
02

リユース工房をご利用ください

問合せ

ごみ減量推進課
 ☎71・3001



ホームページ

粗大ごみだったとは思えない 良質な家具がたくさん

リユース工房とは、市内で排出された粗大ごみのうち、まだ使える家具などを清掃・補修し、展示・販売している施設です。

毎月50点程度を展示しており、毎月変わる展示品を見学するだけでも楽しめます。市ホームページでも展示品を確認できます。

リユース工房は今年で開設5周年。これまでに、約3,000点の粗大ごみが再生、販売され、約55t[※]のごみが減量できています。

リユース工房を活用し、ごみの排出を減らしましょう。



リユース工房の様子

ごみ減量のためにリユースを

リユースは「再使用」の意味で、リデュース・リサイクルと合わせて「3R」と呼ばれています。物をすぐに捨てず、繰り返し使うことがごみ減量につながります。物が壊れても、修理して使い続けるなど、普段からリユースを心がけましょう。

リユース工房の案内

- 営業日
毎週火・木・日曜日
 - 営業時間
午前10時～午後3時
 - 住所
渡刈町大明神39-3（渡刈クリーンセンター内）
 - 電話
☎42・6010
 - 利用方法
 - ①リユース工房で現品を確認
 - ②最低価格以上の値段で入札（毎月第3木曜日正午まで入札可）
 - ③落札の連絡があれば、代金支払の後、引渡し
- ※18歳以上の個人であれば、誰でも入札に参加できます

PICK UP
03

「避難所運営マニュアル」の見直しを行いました

問合せ

防災対策課
 ☎34・6750



ホームページ

皆で考える避難所づくり、 何が必要か確認しましょう

市では、「災害対策推進計画」に基づき、災害時の円滑な避難所運営を目的に避難所運営マニュアルの見直しを行いました。避難所の運営方法について確認し、家族や地域でどんなことが必要になるか考えてみましょう。



避難所運営マニュアルは市ホームページで見ることができます。

避難所運営とは？

避難所運営は、原則避難者の自主運営です

避難所を円滑に運営するためには、避難者全員で協力し、お互い助け合いながら避難所を運営することが重要です。

避難所運営マニュアルで運営方法を知ろう！

全体の流れを時系列で整理することで、災害時における行動方法を分かりやすく知ることができます。

災害発生から避難生活までの流れの確認や、地域の防災訓練に活用しましょう。

まずは“避難しないための対策”を！

災害後、自宅の安全が確認できる場合は、自宅での避難（在宅避難）が基本です（風水害などで避難勧告や指示が発令された場合を除く）。在宅避難により避難所のスペース確保や、空き巣被害の防止にもつながります。災害後も自宅で過ごせるよう、日頃の備えをしましょう。

必要な日頃の備えとは？ CHECK!

- 自宅の耐震化はできている
- 家具の転倒防止はしている
- 生活物資の備蓄（水、食料、トイレ[※]）は1週間程度ある